郡上未来通信 ～輝く未来に向かって～ No.20

就職情報だより【８月号】
平成２６年８月１１日発行
郡上市雇用対策協議会

◇★面接でうまく答えるためのヒント★

面接には、必ずといっていいほど、面接官が発する定番質問があります。主に、「自己紹介系の質問」と「志望動機系の質問」です。今回は、うまく答えるためのヒントをお伝えします。

自己紹介系の質問に対しては、要点を絞って自分を表現する！

質問❶　簡単に自己紹介をしてください。

ヒント　ダラダラとまとまりのない話をしないように、自分の良さをよく表現できる事例に的を絞って話しましょう。具体的な出来事と、それによって表される自分のアピールポイントをセットにして話すと自分の魅力が伝わりやすくなります。

質問❷　高校生活の一番の思い出は何ですか？

ヒント　楽しかったこと、嬉しかったこと、感動したことを具体的に紹介して、その経験で何が得られたかという自己ＰＲも併せて紹介しましょう。

質問❸　現在通っている学校の校風や特色を教えて下さい。

ヒント　校風や教育方針などを急に聞かれても答えられない人もいるでしょう。この機会に一度自分の通う学校のことを振り返っておきましょう。生徒手帳などを読み返してみるとヒントがみつかるかもしれません。

自己紹介ではココが大事！
●一緒に働きたいと思える
●仕事も頑張ってくれると期待できる
⇒面接官がこの２点を感じてくれれば自己紹介は成功です。難しく考えずに明るくハキハキと自己紹介をしましょう。

志望動機系の話をするときには、事前の勉強が欠かせない！

質問❶　当社を志望した理由を教えて下さい。

ヒント　高校生の場合は、学校の先生に推薦された会社を受けることがあると思いますが、その理由だけでは働く意欲が伝わりません。自分自身の考えを必ず付け加えるようにしましょう。

質問❷　当社の業務内容は知っていますか？

ヒント　会社案内や求人票に書いてあることには、必ず目を通しておきましょう。他にも社長の名前や従業員数を聞かれることもあるので、持っている資料は暗記する位によく読んでおくようにしましょう。

志望動機ではココが大事！
●真剣に働く意欲を持っている
●仕事に関する最低限の知識を勉強している
⇒この２点をきっちりアピールして、「この会社で働くことを本気で考えている」ことを伝えられれば成功といえるでしょう。

質問❸　社会で働くことは学生時代と何が違うと思いますか？

ヒント　「志望動機」とは少し違いますが、働くことへの意欲や覚悟をきく質問です。社会に出ることやその会社で働くことは高校時代と何が変わるのか、面接の前によく考えておくと良いでしょう。

（資料出所　厚生労働省「高校生就職ガイダンス」より）

◇先輩からのアドバイス

氏名：　野村　悠真　さん
（平成２６年３月 郡上高校卒）
大平産業株式会社　勤務

☆現在の仕事、会社について

木製品の形状加工をしています。自分が携わった製品が、多くのお客様に使われているということにやりがいを感じています。

この会社に決めた理由は、ものづくりが好きだったこと、自宅から仕事場が近かったからです。勤務先の良いところは、仕事熱心で高品質な製品を作っていこうとする気持ちが強いところです。

また地元に就職を決めたので、落ち着いた生活が出来、良かったと思っています。

☆高校時代について

剣道部に所属して毎日練習に一生懸命取り組みました。また就職に向けては、面接練習に何度も取り組みました。

☆皆さんへのメッセージ

自分に合った就職先を見つけて下さい。そのためには、努力を惜しまず、就職活動に取り組んでいってください。

＜編集後記＞会社見学にも行き、応募企業も決まってきたところだと思います。来月からの選考試験に備え、今から準備をしておきましょう。志望動機の「その仕事に就きたい理由」と「その会社に入りたい理由」をきちんと説明できるよう、応募先についてよく理解しておく必要があります。意識して事前に情報収集をしましょう。（Ａ）